

## 模擬裁判

会員 半澤 斉

### 1 はじめに

「模擬裁判で被告人役としてアキバ系のオタクをやったら小学生から色々突っ込まれて有罪になった」。クラス別研修後の懇親会でこのように話したところ、本エッセイを書く機会をいただいた。そこで、当会の法教育委員会等における模擬裁判の経験をお伝えする。

### 2 ジュニアロースクール

例年、当会の法教育委員会は、夏休み中の小中高の学生を対象に模擬裁判（民事・刑事）や裁判傍聴を行っている（ジュニアロースクール）。

私は、昨年7月27日、刑事模擬裁判（小学生対象）に参加した。被告人役としてアキバ系のオタクをやったというのはこのときの話である。争点は、押しメンアイドルの写真集を窃取したのか、盗品と知らずに譲り受けたのか。手錠・腰縄姿の被告人入廷から判決言渡しまで、一連の刑事裁判を小学生に疑似体験してもらった。

ギンガムチェックのシャツをジーンズにインして、ペンライトを首に下げ、赤いハチマキに黒縁メガネでリュックを背負った被告人（私）は、小学生から散々突っ込まれた揚句、有罪を言い渡された。なお、いずれも私物である。

### 3 日弁連・模擬裁判選手権

日弁連は、毎夏、高校生模擬裁判選手権を主催している（共催：最高裁、検察庁など）。昨年8月5日、私はこちらにも被告人役として参加した。争点は、自校の生徒が薬物事件に巻き込まれないよう見回っていたはずの熱血高校教師は、知らぬ間に覚せい剤を鞆に入れられたのか、知って所持していたのか。

私が参加した関東大会では、関東近郊から8校が出場し、東京地裁1階の大法廷を4つ使用して白熱したやり取りが行われた。

裁判官席からは審査員（法曹三者、学者その他有識者）が、傍聴席からは保護者がじっと見つめてくる。高校生の質問はよく考えられている。あっと言う間に被告人質問の時間は過ぎた。

### 4 オータムスクール

昨年11月26日には、当会の法教育委員会と日本公認会計士協会東京会（東弁に相当するもの）の共催企画である、オータムスクールに参加した。

これは二部構成の企画であり、第一部では会計監査を、第二部では刑事裁判を中学生に体験してもらった。

第二部（刑事裁判）の争点は、杜撰な会計処理が行われていた花屋の副店長は、店長による売上金の横領を知ってそれに加担していたのか否か。参加生徒は、第一部で会計士から学んだ内容を踏まえ、客観資料（売上票、業務日報など）と公判供述との整合性などから結論を出す。私が担当した中学1年生4人は、意見を言いやすい雰囲気を作ると、活発に発言してくれた。

### 5 大学生との模擬裁判

また、昨年7月21日、法教育委員会の中嶋委員長（成蹊大学）での模擬裁判にも参加した。私は、裁判官役の学生による議論をサポートした。

### 6 最後に

以上のとおり、業務の合間を縫って小中高大の学生と模擬裁判をする機会に恵まれた。

学生たちにとって、弁護士や法律と触れ合うという体験は、普段の勉強とは異なるものだったと思われる。これらが彼・彼女らの将来に何らかの形で役立ったら幸いである。

私にとっても、学生の鋭い指摘や、先輩弁護士の視点に触れる貴重な経験となった。この経験を活かし、今後も日々精進していきたい。